



未来への架け橋へ

八代市議会議員 田方 芳信

「企業誘致用地及び新八代駅周辺整備に関する調査特別委員会設置」

TSMCの熊本県への進出を契機として、本市では、にぎわいの創出と県南地域全体の浮揚を目指し、企業誘致用地及び新八代駅周辺の整備に向けた検討が進められております。

市議会におきましても、昨年10月に「企業誘致用地及び新八代駅周辺整備に関する調査特別委員会」を設置し、

企業誘致用地及び新八代駅周辺整備に関する調査特別委員会設置

また、令和2年に完成した「くまモンポートやつしろ」がグランドオープンし、海外からのクルーズ船の寄港再開や、台湾基隆市との友好交流協定締結5周年を記念した市民使節団の相互交流の再開など、国内外からの人々の交流の機会も増え、明るい兆しが見られたところ です。

市民の皆様におかれましては、健やかで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より市議会の活動に對し、まして、格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、「くま川祭り」や「全国花火競技大会」などの各種イベントが通常開催されるようになりました。

明けましておめでとーなついでに

地域経済の活性化、交流人口の増加や雇用創出、さらには、物流・人流拠点機能の整備といった喫緊の課題解決に向け、「未来への架け橋」となるよう果敢に取り組んでまいります。

坂本町の一日も早い復旧・復興

坂本町では、災害公営住宅の建設や宅地かさ上げ、輪中堤事業が始まるなど、復旧・復興に向けた取り組みが着実に進められております。市議会といたしましても、坂本町の一日も早い復旧・復興に向けて、引き続き、取り組んでまいります。

開かれた議会の実現に向けた取組

市議会では、「開かれた議会」を目指し、本会議などのライブ中継はもとより、市議会だよりやホームページ、フェイスブックを活用した積極的な情報発信、さらには議場見学などを行っております。今後も引き続き、タブレット端末による議会運営や情報発信など、デジタル技術を活用したさまざまな取り組みを推進し、開かれた議会の実現に向け取り組んでまいります。

本年も、市民の皆様の期待に応えられるよう真摯な議論を積み重ね、市民の皆様の声を市政へと反映するため、全力で取り組んでまいります。

新しい年が市民の皆様にとって幸せで実り多い年となりますことをお祈り申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって、幸多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

「やつしろ」の未来を切り拓く

八代市長 中村 博生



市民の皆様におかれましては、新春を健やかな気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より八代市政の発展にご理解とご協力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

市政この1年を振り返る

新型コロナの5類移行により、くま川祭りややつしろ全国花火競技大会など各種イベントが制限を設けずに開催されたことで、まちににぎわいが戻ったことを実感するとともに、大型クルーズ船の寄港再開や、台湾基隆市と本市との相互の使節団派遣により、国内外を問わず、人の交流が活発になったことを強く感じた1年でもありました。

坂本町の復興については、災害公営住宅が3棟落成を迎え、宅地かさ上げ・輪中堤事業も始まりました。引き続き、坂本町の創造的復興を最重要課題として、本格的な住まいの再建等に取り組んでまいります。

さらに、保育料の完全無償化により、子育て環境の一層の充実を図るとともに、起業・創業者を支援するスタートアップ事業の開始や、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた「ゼロカーボンやつしろ推進計画」の策定など、将来を見据えた取り組みも進めてまいりました。

結ぶに、新しい年が皆様にとって、幸多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

明けましておめでとーなついでに

新年への抱負 飛躍する県南の拠点都市

熊本市に進出したTSMCは、本年末から新工場が本格稼働予定であり、第2工場も県内での建設を検討されています。

その効果を本市へ波及させるため、八代港が物流の拠点となるよう航路のサービス拡充やポートセールスに取り組みるとともに、新八代駅周辺の開発に向けては、文化コンベンションセンター(仮称)の配置を含めたグラウンドデザインを策定することとしています。

また、昨年末、熊本県が「八代地域における県営工業団地の整備」を表明されたことは、本市にとりて大きな追い風であり、一日も早い実現に向けて全面的に協力してまいります。

今後は、台湾をはじめ国内外からの人・物の交流が一層活性化することが予想されます。このチャンスに逃すことなく、本市が持つ地理的優位性を活かしながら、**県南の雄都に相応しいまちづくり**を目指してまいります。

11月 坂本ふるさとまつり

10月 やつしろ全国花火競技大会

10月 東陽しょうが祭

10月 みなと八代フェスティバル2023

8月 八代くま川祭り

5月 愛鏡祭

11月 八代妙見祭

10月 全国女性消防操法大会優勝

6月 平家いずみお茶まつり

3月 九州国際スリーデーマーチ2023

写真で振り返る 2023年



11月 坂本ふるさとまつり



10月 やつしろ全国花火競技大会



10月 みなと八代フェスティバル2023



8月 八代くま川祭り



5月 愛鏡祭



11月 八代妙見祭



10月 東陽しょうが祭



10月 全国女性消防操法大会優勝



6月 平家いずみお茶まつり



3月 九州国際スリーデーマーチ2023



奠濟宮(てんさいきゅう)



陽明海洋文化芸術館



廟口夜市(昼)



和平島公園



十份にて天燈上げを体験



歓迎レセプション



九份(阿妹茶樓(アーメイツアーハウス))

台湾に行ってみたくて、親の勧めもあり参加しました。台湾の人はすごく優しく、日本語も通じて、夜市のおすすめなどを教えてもらいました。基隆の夜市は提灯がたくさんあり、人も多くて、お祭りみたいで楽しかったです。普段話すことのない人と接することができ、いい経験になりました。



松岡綾彩さん(八代高2年)(左)
嶽本美咲さん(八代高2年)(右)

参加者の声



白石 裕之さん(八幡町)
土屋貴美代さん(末広町)

基隆市は初めてでしたが、市が友好交流協定を締結していたので興味があり、行こうと思いました。基隆市長はじめ、市民が歓迎してくれて、とても感動しました。台湾にはフレンドリーな人が多く、言葉の壁はあっても、気遣いがわかりました。参加してよかったです。

八代市基隆市友好交流5周年記念

「友好都市基隆と台湾の美食をめぐる旅」

令和5年11月17日～20日(4日間)

応募した市民と関係者からなる市民使節団61人が基隆市や台湾の観光地などを訪問し、基隆市民らとの交流を行いました。

八代市×基隆市 ～手を取り合って未来へ～

本市と基隆市は、産業や経済、文化、スポーツ、観光、教育など、様々な分野における交流を通して、共にさらなる発展ができるよう平成30年4月に友好交流協定を締結し、昨年4月に5周年を迎えました。これまで市民や民間団体の皆さんによる交流が盛んに行われていましたが、協定締結をきっかけに、訪問団の相互派遣や基隆市における観光・物産フェアの開催、基隆港と八代港を結ぶ国際コンテナ定期航路の開設など、様々な分野で友好関係を深めています。



基隆市政府訪問

グルメ

廟口夜市には、何十ものお店が集まっており、昼から深夜まで毎日多くの人でにぎわっています。魯肉飯(ルーローン)やふわふわかき氷、天ぷら、サンドイッチはこの名物ですので、お店の前はいつも大行列です。また、近くには「元祖」と言われるパイナップルケーキのお店もあります。



ふわふわかき氷



魯肉飯



パイナップルケーキ



サンドイッチ



廟口夜市



奠濟宮(てんさいきゅう)



和平島公園



正濱漁港(カラフルハウス)

基隆市ってどんなまち？

基隆市は、人口およそ36万人、台湾の最北端に位置し、台湾第2位の貨物取扱量を誇る世界有数の貿易港を持つ都市です。また、台湾最大級の旅客ターミナルを保有しており、大型クルーズ船に乗って多くの観光客が訪れる観光都市でもあります。台湾の中心都市である台北市とのアクセスが優れており、豊かな自然と美しい町並みが調和した港町です。

観光スポット



基隆市

台北市

台湾

食を通しての交流

～フードバレーフェア～

平成27年に八代港と基隆港の交流促進を目的とした「友好交流確認書」を取り交わしたことを機に、翌年第1回目となる「くまもと県南フードバレーフェアIN台湾基隆市」が始まりました。今回、友好交流協定締結5周年を記念するイベントとして昨年11月18日～19日の2日間、基隆市で4年ぶりに第6回となる物産展を開催しました。

日本の伝統文化である鏡開きで始まり、基隆市の子どもたちによる太鼓演奏やダンス、くまモンや096k熊本歌劇団による演舞などで会場を盛り上げました。物産展では、八代の観光紹介のほか、市内事業者による特産品を使った加工品やいぐさ商品の販売を行い、売り切れ商品がでるなど大盛況。約4万人の人でにぎわいました。



スポーツを通しての交流

～ホストタウン交流事業～

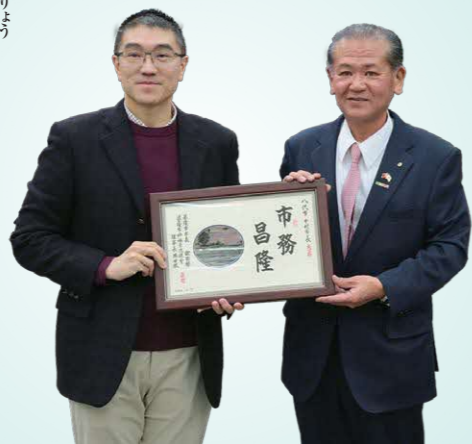
この事業は、日本の自治体と東京オリンピック・パラリンピック競技大会に参加する国・地域が人的・経済的・文化的な相互交流を図る事を目的として実施され、本市は台湾の「ホストタウン」として登録されました。

これを機に、平成31年からスポーツを通じた交流が始まり、昨年の1月に3回目となる交流を行いました。その時の訪問で、台湾バドミントン協会との会談やジュニアバドミントン選手との交流を行い、今後の交流の継続などについて確認しました。

交流事業は本市の子どもたちにとって貴重な経験となり、競技力が向上することや交流人口の拡大、地域活性化につながることを期待されています。



謝國樑基隆市長の思い
八代市と基隆市はこれまでさまざまな分野で友好を深めてきました。特にフードバレーフェアは友好交流締結以前からコロナ禍を除いて毎年開催していたため、多くの来場者でにぎわっています。昨年10月に27名の基隆市使節団が八代市を訪問した際には大変暖かい歓迎をいただき、八代市の皆様がいかにすばらしいかということを実感しました。



中村市長の思い
コロナ禍により、往来が制限された時期もありましたが、行政による交流をはじめ、子どもたちによるスポーツの交流、両市のロータリークラブによる交流、またTSMCの熊本進出や国際クルーズ船の受入再開など、明るい話題が続いています。今回の訪問とくまもと県南フードバレーフェアIN台湾基隆市の再開を契機として、物流・人流の両面から、さまざまな分野における交流が益々深まり、つながりがさらに強固に、そして末永く続くことを大いに期待しています。

これまでの交流経緯

- ◆1979年 2月 ①八代南ロータリークラブと「基隆東ロータリークラブ」が友好クラブ締結 (昭和54年)
- ◆1996年 1月 ②八代東ロータリークラブと「基隆西北ロータリークラブ」が友好クラブ締結 (平成8年)
- ◆2015年 8月 ③基隆市で「八代港基隆港友好交流確認書」を調印 (平成27年)
- ◆2016年 1月 第1回「くまもと県南フードバレーフェア (平成28年) IN台湾基隆市」開催 ※令和元年まで毎年開催
- ◆2018年 4月 ④基隆市で「友好交流協定」を締結(4月19日) (平成30年)
- ◆2019年 1月 市バドミントン協会により選ばれた「八代市 (平成31年令和元年) ジュニア選手」の訪問団が基隆市を訪問、現地のジュニアチームと親善試合を実施
- ◆2021年 1月 八代港に台湾とのコンテナ定期航路 (令和3年) (基隆・台中・高雄に寄港) が就航
- ◆2023年 1月 県市バドミントン協会により選ばれた、 (令和5年) 「県市ジュニア選手」の訪問団が基隆市を訪問
- 10月 ⑥邱佩琳副市長をはじめとする基隆市使節団が八代市を訪問
- 11月 友好交流協定締結5周年記念 市長を団長とする八代市民使節団が基隆市を訪問
- 第6回「くまもと県南フードバレーフェア IN台湾基隆市」開催



③八代港・基隆港友好交流確認書調印



④友好交流協定締結



⑤友好交流協定締結1周年記念



⑥基隆市使節団が八代市を訪問

①～友好交流のきっかけ～ 八代南ロータリークラブ

私たちロータリークラブは、奉仕の理念を奨励し育むために五大奉仕(クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕)を掲げ、例会や奉仕活動を行っています。

私たちと基隆市の交流のきっかけは、1979年ロータリー国際理解週間の際に、私たちと創立年が同時期の基隆東ロータリークラブを訪問したことに始まります。私たちはすぐに意気投合し、以後友好クラブとして44年もの間、毎年のようにお互いを行き来し、友情を深めています。

今年度は、私たちの支援するやつしろインターアクトクラブ(八代中学・高校PTAと協力し設立したボランティアクラブ)と共に日台交流を行いました。将来を担う子どもたちにとって奉仕の精神や国際理解を高めるきっかけがない経験になったと思います。

今後もこのような活動を継続し、八代市と基隆市の国際交流を促進できればと思います。



会長 塚本 慎一郎 さん



②～民間交流のひろがり～ 八代東ロータリークラブ

私たちと基隆市との交流は、八代南ロータリークラブの紹介で、1996年に基隆西北ロータリークラブと友好クラブを締結したことを機に、コロナ禍を除き毎年相互訪問をしています。また、会員の子どもたちのホームステイを相互に行うなど、親睦を深めています。以前基隆市の学校に浄水器14台を設置し、子どもたちがとても喜んでくれたことが今でも印象に残っています。

これからも、私たちの活動を通して、八代市と基隆市の交流がより活発化し、共に発展できたらと思います。



会長 松本 太巳雄 さん

